

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	保健体育(保健)		単位数	1単位	履修学年	2年
目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。					
使用教材	教科書 現代保健体育(大修館書店)					
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)		
	個人及び社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的の学習の取り組みをしているか。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題解決を目指して、考え、判断をしているか。		個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ基礎的な事項について理解し、知識を身につけているか。 定期考査を基本に評価する。		
評価方法	出席状況・授業への取り組み・定期考査などを参考に、三つの観点を総合的に判断して評価します。1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記内容を総合的に判断して決定します。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	2単元「生涯を通じる健康」 ①思春期と健康 ②性意識と性行動の選択 ③結婚生活と健康 ④妊娠・出産と健康 ⑤家族計画と人工妊娠中絶 ⑥加齢と健康 ⑦高齢者のための社会的取り組み ⑧保健制度と保健サービスの活用			①思春期における体の発達の特徴と心理面・行動面の特徴を理解する。②性意識の男女差の違いと性的欲求のあらわれ方の違いを理解する。③健康な結婚生活を営むための留意点を心身の発達の観点から理解する。④受精・妊娠・出産の過程と本人及び周囲の人たちの留意点を理解する。⑤家族計画の意義と避妊法の方法を知り、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響を理解する。⑥加齢に伴う心身の変化を形態・機能の両面から理解する。⑦高齢者の生活と健康に関する現状を知り、保健・医療・福祉の連携の意義を理解する。⑧保健行政の役割としくみを理解する。		
2	2単元「生涯を通じる健康」 ⑨医療制度と医療費 ⑩医療機関と医療サービスの活用 3単元「社会生活と健康」 ①大気汚染と健康 ②水質汚濁と健康 ③土壌汚染と健康 ④健康被害の防止と環境対策 ⑤環境衛生活動のしくみと働き ⑥食品衛生活動のしくみと働き			⑨日本における医療保険のしくみを理解する。⑩医療機関の選び方について医師とのかかわり方も含めて理解する。3単元①大気汚染が人体に及ぼす影響を理解する。②水質汚濁が人体に及ぼす影響を理解する。③土壌汚染が人体に及ぼす影響を理解する。④環境汚染の防止・改善の対策法を知る。⑤ごみ処理法の過程を知り、その問題点と対策を理解する。⑥食品の衛生管理のために、行政や製造者がどのような対策を講じているかを理解する。		
3	3単元「社会生活と健康」 ⑦食品と環境の保健と私たち ⑧働くことと健康 ⑨労働災害・職業病と健康 ⑩健康的な職業生活			⑦食品の安全性を確保するために、いかなる対策を講じる必要があるかを理解する。環境汚染を防止するためにいかなる対策を講じる必要があるかを理解する。⑧働くことと健康が相互に影響していることを知り、どのようにすれば健康を維持できるかを理解する。⑨労働災害が起こる過程を知り、防止方法を理解する。⑩職場での健康増進対策と日常生活の健康増進対策を知る。		
学習上の留意点	定期考査だけでなく、日常の授業の様子も評価する。					